

金沢市行政経営プランの取組状況等について

1. 金沢市行政経営プランの概要

(1) 基本理念

質の高い市民サービスを創り続ける行政経営の実践

(2) 推進期間

令和5年度～令和8年度（4年間）

(3) 基本方針

- 1 行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）
- 2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）
- 3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

2. 取組事項の達成率

達成率 88.9% (実施計画 90 項目中 80 項目が達成済)

基本方針	項目数(A)	達成(B)	達成率(B/A)
1 行政組織の質を高める	26 項目	25 項目	96.2%
2 共創の質を高める	31 項目	27 項目	87.1%
3 財政基盤の質を高める	33 項目※	28 項目	84.8%
合計	90 項目	80 項目	88.9%

※うち 2 項目は数値未確定

3. 令和5年度に実施した主な取組事項

方針

1 行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）

（1）働き方のDXと機能的な組織運営

- ・ 職員による課題解決アプリの実践数（累計）【数値目標】 [P27, No.1]

42件のアプリを開発・実践し、業務改善を図りました。（累計開発アプリ数 113件）

（2）行政データの活用と伝わる情報発信

- ・ 人流データを活用した混雑予測等情報の発信 [P39, No.18]

人流データを活用した混雑予測を行い、快適度マップをサイトに掲載するとともに、予測エリア周辺のおすすめスポット情報を発信し、満足度の向上を図りました。

（3）職員の意識改革と人材の確保

- ・ 新たな知識やスキルの学び直しの推進 [P45, No.23]

業務上必要とされる新たな知識やスキル等の学び直しを推進するため、eラーニング研修、デジタルリスキリング研修を実施したほか、大学院に加え大学での科目履修を助成対象に拡大しました。

2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）

（1）多様な主体との協働の推進

- ・ 地域課題解決プラットフォームの活用推進[P56, No.38]

7月より本格運用を開始し、延べメンバー111名の登録、課題数25件の投稿があり、課題解決に向けて協働を進めています。

（2）民間の創意工夫を活用する官民連携の推進

- ・ まちづくりに係る民間企業との連携方策の検討 [P61, No.46]

民間企業との連携方策に係る検討調査を行うとともに、包括連携協定締結企業と連携拡大に向けた取組について協議したほか、新たに(株)セブン-イレブン・ジャパンと包括連携協定を締結しました。

（3）自治体間における広域連携の推進

- ・ 北陸三都市の連携による観光PRイベントの開催 [P69, No.57]

福井市、富山市と連携し、東京駅で観光PRイベントを実施しました。また、石川県、小松市、加賀市と連携し、金沢が舞台の映画「スパイスより愛をこめて。」とタイアップした観光PR動画をSNSで発信しました。

3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

（1）公共施設の保有量の適正化と施設環境の充実

- ・ 公共施設等総合管理計画の見直し [P72, No.58]

予算を平準化し、計画的な再整備と適正な維持管理を行うため、公共施設等総合管理計画を改訂し、公表しました。

（2）効果的な政策立案と歳入の確保

- ・ ネーミングライツの導入 [P84, No.77]

3社の応募の中から、選定委員会での審査を経てネーミングライツパートナー企業を決定、契約額は5年間で総額155,550千円と、多大な財源確保を実現しました。

（3）特別会計の整理合理化と経営基盤の強化

- ・ 金沢市立病院経営強化プランの策定 [P91, No.90]

市立病院再整備基本構想や県の地域医療構想と整合を図り、経営健全化を進める新たな「金沢市立病院経営強化プラン」を策定しました。

4. 令和6年度に追加した主な取組事項

方針

1 行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）

（1）働き方のDXと機能的な組織運営

- ・ 公用車給油事務へのクレジットカードの導入[P35, No.R6-7]

公用車への給油時に用いてきた伝票を廃止し、クレジットカード払いとすることで、事業者は請求処理が不要となり、市は毎月の支払いを全件一括で処理が可能となります。

（2）行政データの活用と伝わる情報発信

- ・ デジタル通学路マップの活用推進[P41, No.R6-10]

市民の利便性向上を図るため、通学路図及び通学区域図をデジタル化し、オープンデータとして提供することで、アプリ等での活用を推進します。

（3）職員の意識改革と人材の確保

- ・ 採用情報の効果的な発信（インタラクティブ動画の活用）[P47, No.R6-13]

公務に興味関心を寄せる若年層向けに、効率的に本市の情報を収集できるよう、タップ、クリックに合わせた「情報表示」や「ストーリー分岐」ができる仕掛けを組み込んだ「触れる動画」を作成し、市職員採用公式SNS等に掲載します。

2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）

（1）多様な主体との協働の推進

- ・ 学生等と連携した交流イベント等を開催する商店街に対して支援を拡充 [P56, No.R6-19]

商店街団体が地域住民との交流促進等を目的として実施するイベントの実施にあたり、外部の視点や発想を有する学生団体等が企画運営として連携します。

（2）民間の創意工夫を活用する官民連携の推進

- ・ 官民連携によるリノベーションまちづくりの推進[P63, No.R6-20]

官と民（リノベーション事業者、テナント事業者、商店街等）が連携し、空家・空地の遊休不動産や広場・公園等の公共空間を利活用することにより、まちなかのにぎわいを創出し、エリアの価値向上を図ります。

（3）自治体間における広域連携の推進

- ・ 白山野々市広域消防本部との消防指令センターの共同運用拡大に向けた協議に着手[P70, No.R6-26]

白山野々市広域消防本部を含めた石川中央都市圏域5消防本部が管轄する地域での消防指令センターの共同運用拡大に向けた協議に着手します。

3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

（1）公共施設の保有量の適正化と施設環境の充実

- ・ 南部地区における教育・福祉施設の再整備 [P79, No.R6-30]

三馬小学校、三馬保育所、教育プラザ富樫など、南部地区における教育・福祉施設の再整備を推進します。

（2）効果的な政策立案と歳入の確保

- ・ 企業版ふるさと納税の納税額【数値目標】 [P89, No.R6-33]

企業版ふるさと納税に特化したポータルサイトを開設し、全国の企業に第3次金沢版総合戦略を広報することで、企業版ふるさと納税寄附を促進します。

（3）特別会計の整理合理化と経営基盤の強化

- ・ 金沢市企業局経営戦略の改定 [P92, No.R6-34]

令和6年能登半島地震や水需要の減少等による事業環境の変化に的確に対応するため、令和3年度に策定した企業局経営戦略2022を改定します。